

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	外国語	科目	英語探究	学年	第 2 学年	類型	Ⅱ 型文系
単位数	1 単位	教科書	Hyper Listening 4th Edition（桐原書店）				
補助教材							

学習目標	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学 期	4月	UNIT 1 描写1	進行形の文	期 末 考 査
	5月	UNIT 2,3 描写2、アナウンス	形と模様、禁止を表す表現	
	6月	UNIT 4,5 プレゼンテーション、描写3	長い文、人物描写	
	7月	UNIT 6 順序	順序	
2 学 期	8月	UNIT 7,8 留守番電話のメッセージ、討論	不規則動詞の過去形、イギリス英語	期 末 考 査
	9月	UNIT 9,10 位置、時間	位置関係、時刻	
	10月	UNIT 11,12 ガイダンス、順位	時を表す表現、順位	
	11月	UNIT 13,14 道案内、グラフ	道案内、数値の増減	
	12月	UNIT 15 インタビュー	疑問文	
3 学 期	1月	UNIT 16,17 ディスクジョッキー、図表	発音が似ている単語、比較表現	学 年 末 考 査
	2月	UNIT 18,19 買い物、ニュース	値段、受動態	
	3月	UNIT 20 講義	表現の言い換え	

学習の方法	各レッスンの目標となっている学習内容を参考書の説明を読んで十分に理解を深めましょう。次に基本例文を聞き取ったり、書き取ったり、音読したりするなどして、繰り返して練習することでしっかり身に付け、相互活動や英作文など、場面に応じて実際に使用することで学習を深めましょう。また、できるだけ多くの英語表現を身に付け、日常的に使えるようにしていきましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	場面や状況に応じた論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝えるための表現を理解している。また、その表現が使える。	日常的な話題について、情報や考えを活用し、要点や意図を明確にして自分自身の考えを適切に表現している。	①②の各項目に積極的に取り組むとともに、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、授業での小テスト、提出課題、授業に取り組む姿勢等を考慮して評価する。		